



ー平成29年度 室蘭市教育研究会授業研究集会終了&グローバル研修第Ⅱ期修了ー

今月2日(木)は高砂小学校において、市教研外国語活動部会の授業研究集会を行いました。また翌週9日(木)には苫小牧市においてグローバル研修第Ⅱ期を修了しました。今回は、これらに関わって情報提供をしたいと思います。

市教研授業研究集会 (in 高砂小学校)

- 小学校外国語活動部会の授業公開は、高砂小学校の5年1組長田学級で行われました。
授業は、Hi, friends! Lesson8 I study Japanese. 単元5時間分の3時間目の公開でした。今年6月の校内授業研の際にも長田学級には寄せていただいていたおり、私自身は2度目の参観でした。また、昨年度後期の巡回校でもありましたので、6年生担任だった長田先生とは毎回のように授業の反省や打ち合わせを行っていたのを思い出します。
よく、小学校外国語活動のベースは学級経営だと言われますが、高砂小5年1組の学級の雰囲気も大変温かいものがあり、落ち着いた中にも楽しく内容のある・意味のある活動をされていたと思います。
授業公開大変お疲れ様でした。ありがとうございました。
- 外国語活動部会では今回も、授業の指導・助言ならびに講演について、北海道教育大学札幌校教授の萬谷隆一先生にお願いしていました。ご存知の方も多いかと思いますが、大学における教員養成はもちろん、英語教育における著名な研究者の一人でもあります。小学校英語教育学会(JES)会長も務められており、昨今は特に多忙を極めておりますが、無理をお願いして今年も室蘭までお越しいただきました。
授業研究集会では、授業の指導・助言の後、この秋に公表された新教材 We Can! に関わる諸々の情報提供をしていただきました。これから私たちが来春までに準備しておくべき事柄をすっきりとまとめていただきました。
まさに時機に合った情報提供でしたので、この紙面でもその一部ではありますが紹介します。

▶ 新学習指導要領・We Can! の特徴/他の自治体の取り組みについて

新学習指導要領の外国語における特徴的な活動の一つとして“Small Talk (スモール・トーク)”を紹介していただきました。5年生は先生と児童と、6年生は児童同士で、2時間に1回程度の帯時間で「あるテーマについてのフリートークをしよう」というものです。5年生は指導者のまとめた話を聞くことを中心に、6年生はペアで伝え合うことを中心に(「小学校外国語活動・外国語 研修ガイドブック」p.130~134を参照)となっています。

「身近な話題についての英語での会話」を通して、英語も日本語と同じ言葉であること(何かを伝え合うためのツールであること)を、体験的に理解させるねらいがあるといえます。

Small Talk のダイアログ(dialogue)例はYouTubeにもアップされており、先生方が参照できるようになっています。

合わせて他の自治体の情報もいただきました。前回紹介した時数の関係では、例えば平成30年度の札幌市は「3・4年生20時間/5・6年生55時間」となっているそうです。(5時間上乗せです。)

また、旭川市では既に、年間指導計画作成のための作業チームを発足させてモデルプラン作りを進めているそうです。

なお、室蘭市においても研究所の外国語グループにおいて、年間指導計画モデルプラン作成に向けての検討を始めています。



グローバル化に対応した英語教育指導力向上研修第Ⅱ期 (in 苫小牧)

9月20日(水)21日(木)の第Ⅰ期に続き、今月9日(木)第Ⅱ期を実施しました。(Compass No26参照)

最終日は、「歌の活用、指導案の作成、他教科等と関連した内容を取り入れた活動」の3項目5時間です。今年度室蘭からは知利別小の菊地先生が参加されました。菊地先生は今年度、知利別の外国語担当の仕事もされており、多忙な中苫小牧まで計3日間参加してくださいました。大変お疲れ様でした。

さて、胆振管内のグローバル研修は平成28年度からの4ヶ年で全小学校から1名参加となっており、今年度は終了しましたので、まだ参加のない学校においては、平成30年度か31年度での参加が求められます。次年度開催地はまた西部地区が予定されているようなので、今年度より参加しやすいかもしれません。対象の学校においては、心づもりをお願いしたいと思います。(※ 次年度のグローバル研修は、今年度中央研修に参加されている苫小牧の梅田先生が担当の予定です。)